

RMC-400



仕様書

■リアパネル端子部



POWER



メイン電源

本体のメイン電源スイッチ

+ DC IN 12V



DC 入力端子

DC ソケットは、付属の 12V AC アダプタを接続します。

接続は、DC In プラグの外側固定リングをソケットにねじ止めすることによって確保できます。

TO REPLAY RECORDER



mini-USB 端子

最大 4 台の HDR-10 リプレイレコーダーとの接続が可能です。

DEV1～DEV4 の各ポートは、デバイス有効化ボタンと対応しています。

GPI



GPI 端子

GPI インタフェースを使用すると、スイッチャーなどの他の外部デバイスに接続して再生をトリガーすることができます

F/W UPGRADE



ファームウェアアップデート

USB タイプファームウェアをアップグレードするためのポート。手順については、ファームウェアアップグレードを参照してください。



■コントロールパネル部



デバイス有効化ボタン

“DEV 1～4”ボタンを押して、制御する HDR-10 デバイスを選択します。

無効にするにはもう一度ボタンを押してください。(複数デバイスの同時接続時のみ)



ALL ボタン

ALL ボタンを押すと、すべてのデバイスが有効になり、同時に 4 つまでの HDR-10 レコーダーを制御することができます。



キャプチャモード

「キャプチャ」ボタンを押してキャプチャモードにします。



トリムモード

目的のシーンがキャプチャされた後、“TRIM”ボタンを押して編集するトリムモードに入ります。



リプレイモード

REPLAY ボタンを押すと、HDR-10 レコーダーデバイスが再生モードに入ります。



リコールモード

「RECALL」ボタンを押すとオンスクリーン・リコール・メニューが開き、ユーザーはリプレイのためにクリップを取り出すことができます。選択したクリップを再生するか、選択したクリップを現在の再生クリップに追加するかを選択できます。



メニューモード

オンスクリーンメニューを開くには、この「MENU」ボタンを押してください。

オンスクリーンメニューの詳細はメニュー項目を参照下さい。



プレイ / ポーズボタン

リプレイモードとトリムモードでは、

このボタンを押してクリップの再生を開始/一時停止します。



マークイン / 決定ボタン

キャプチャモードとトリムモードでは、

このボタンはクリップの開始点をマークします。

リプレイモードでは、このボタンは無効になっています。

リコールモードとメニューモードでは、このボタンは選択を確定するための「決定」ボタンとして機能します。



GO TO MARK / SHORT ボタン

トリムモードでは、「GO TO MARK」ボタンは、「Go To Marker」モードと「Drop Marker」モードを切り替えます。このボタンは再生モードでは無効になっています。

キャプチャモードでは、このボタンは短い長さのクリップをすばやくキャプチャするための「SHORT」ボタンとして機能します。たとえば、「SHORT」ボタンが4秒に設定されている場合、このボタンを押すと、最新の4秒のビデオがキャプチャされます。SHORTビデオキャプチャの時間は、オンスクリーンメニューで設定できます。設定の詳細については、メニュー項目を参照してください。



MARK OUT / MEDIUM ボタン

トリムモードでは、「MARK OUT」ボタンがクリップの終点をマークします。再生モードでは、このボタンは無効になっています。

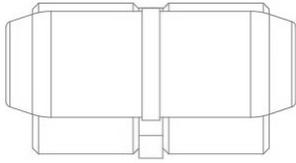
キャプチャモードでは、このボタンは「MEDIUM」ボタンとして機能し、中程度の長さのクリップをすばやくキャプチャします。たとえば、「MEDIUM」ボタンが7秒に設定されている場合、このボタンを押すと最新の7秒のビデオがキャプチャされます。MEDIUM長のビデオキャプチャの時間は、オンスクリーンメニューで設定できます。設定の詳細については、メニュー項目を参照してください。



SAVE CLIP / LONG ボタン

トリムモードでは、「SAVE CLIP」ボタンは現在のキャプチャしたクリップを保存します。再生モードでは、このボタンは無効になっています。

キャプチャモードでは、このボタンは長いクリップをすばやくキャプチャするための「LONG」ボタンとして機能します。たとえば、「LONG」ボタンが14秒に設定されている場合、このボタンを押すと最新の14秒のビデオがキャプチャされます。LONGビデオキャプチャの時間は、オンスクリーンメニューで設定できます。設定の詳細については、メニュー項目を参照してください。



T-Bar

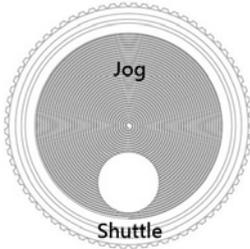
T-Bar はリプレイ再生のスピードを設定します。

速度は 0%～400%の範囲です。

リプレイおよび TRIM モードでは、T-Bar を希望の速度に対応する位置に設定します。

T-Bar は一番手前側が速度 0%で上に移動するに従ってスピードが上がって行きます。

また、クリップの再生中に T-Bar の位置を調整することで、クリップの再生速度を変更することもできます。



Jog / シャトルノブ

トリムモードと一時停止時のリプレイモードでは、ジョグとシャトルホイールを使用してカーソルの位置を調整できます。

シャトルホイールは、1 倍速、2 倍速または 4 倍速で早送りまたは巻き戻しを行います。

ジョグホイールは、フレームごとにカーソル位置を微調整します。

リコールモードとメニューモードでは、ジョグホイールを使ってオンスクリーンメニューをブラウズします。

仕様



型番	RMC-400
インターフェース	GPIポート × 1系統 Mini USB × 4系統 USBポート × 1系統 (FW/Upgrade用)
動作環境温度	0° C ~ 40° C
動作環境湿度	10%~80%(結露なし)
電源スイッチ	システムメインスイッチ (背面) × 1
寸法 / 質量	280mm(幅) × 60mm(高さ、T-Bar含まず) × 192mm(奥行) 1.45 Kg (本体のみ ACアダプタ含まず)
電源	DC 12V / 5.5W
付属品	AC/DC変換アダプタ (DC12V 1.0A) × 1 Mini USB - USB TypeA ケーブル × 4

※仕様及び外観は改良の為、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。